



SHINYA FURUTACHI

今回は、ダイニングキッチン九曜杏（熊本ホテルキャッスル）の新任マネージャー古舘信也さん取材することにした。なかなかのイケメンで、黒服が似合う、とても陽気な人物である。しかし、軸はしっかりとしており、自分の考えをズバツと語る好青年でもある。

巨人ファンであるとの事で、撮影から数日後に、巨人V9の話で盛り上がった。筆者も巨人ファンで育ち、小学校当時は、剣道をしながら、学校代表のソフトボールチームのレギュラーでもあった。

長嶋、王、黒江、土井、柴田、高田、国松、森、堀内とサラサラとV9当時の選手名が飛び出してくる。筆者の記憶に刻まれたファインプレーに、国松がライトを浅く守り、ライナーをジャンプしてキャッチ、そのままファーストへ投げてダブルプレーしたのを思い出す。

彼は、大の長嶋ファン。目尻が下がり、ニコニコして長嶋茂雄を語る。そんなこんなで巨人ファン同士の話が延々と続くような気配であった。

同レストランでは、激辛カレーを筆者がオーダーすると、皆が、噴水の様に噴き出る汗を見ては、ニヤニヤしている。辛ければ辛いほど、メガネも曇り、バスタオルが必要なほどに汗が流れ出し、頭頂部から湯気まで出てしまう。

それを彼は、「どうですか？今日のカレーの具合は？」と、見てお分かりだが、必ず確認をしては、ニンマリと頷くのである。こんな会話のキャッチボール。あっという間に時間が過ぎて、その日の取材を忘れてしまうのである。

2021.5.27



文責：西田親生